



# 神崎市 議会だより

## 議会運営委員会視察研修



(糸島市役所にて研修)

## 6月定例会

次回定例会は8月30日開会予定です。

### 目次

補正予算「これが聞きたい」	P2~9
臨時会	P10
議会広報編集特別委員会の閉会中の活動について	P11
委員会活動報告	P12~13
意見書	P14
議会の動き	P15
一般質問	P16~P23
発見かんざき・編集後記	P24

# 第28号

平成25年8月1日  
2013年

## 補正予算

# 風しん予防接種費用助成事業に 866万8千円

## 平成25年度一般会計予算補正1、2、3号 2,683万1千円追加

### 6月定例会

平成25年6月定例会は、6月7日～6月25日まで19日間開催され、一般質問には15名の議員が登壇しました。平成25年度一般会計補正予算では、2,683万1千円追加され、総額135億6,783万1千円となります。

### 平成25年度予算特別委員会審査報告

委員長 田原 和幸 議員

6月の本会議において、本委員会に付託された議案について委員会を開き慎重に審議しました。今議会には、平成25年度一般会計補正予算が第1号から第3号まで上程された。第1号議案の神埼中央公園体育館の雨漏り補修については、7月末開催の北部九州高校総体に間に合うよう、本委員会に付託を省略し本会議で可決された。

第2号、第3号についての質疑、意見要望を報告します。

- ・コミュニティ助成事業については、市から県への申請件数、採択されやすい申請分野、何回目の申請で採択されたか等の質疑。
- ・風しん予防接種費用助成事業については、ワクチン接種対象者を広げるなどの施策を要望された。
- ・市道の<sup>かし</sup>瑕疵による事故損害賠償については、事故原因の路面穴の深さ、報告内容、今後は警察への届出をはじめ、内規法令等を遵守し、確実に手順を踏む様、要望があった。採択の結果、2号議案、3号議案ともに全会一致で原案どおり可決された。



H25年6月19日 予算特別委員会

一般会計補正第 1 号

# 神埼中央公園体育館屋根雨漏り対策修繕工事 予算額 850 万 8 千円

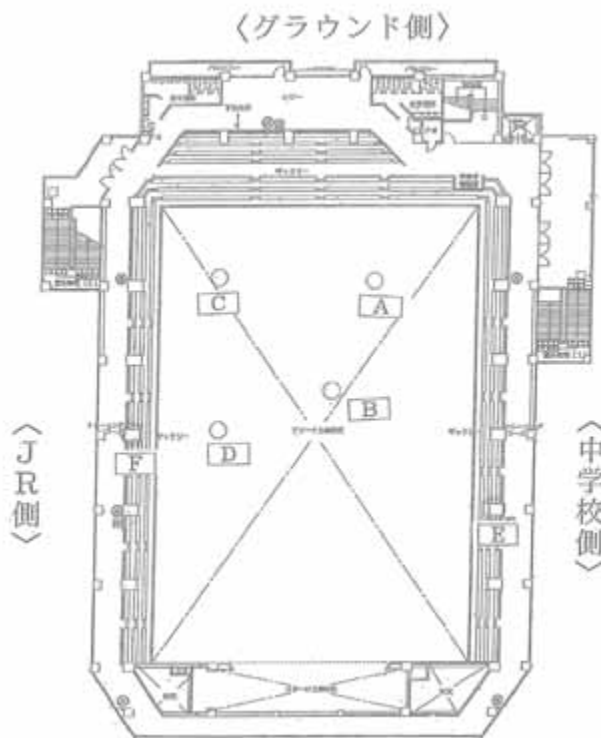
〔提案理由〕

神埼中央公園体育館内のアリーナ天井において雨漏りが確認された為、早急に防水工事を行うものである。

又、北部九州総体（ハンドボール競技）が7月28日から8月4日までの間、本施設で開催されることから、開催前に修繕工事を完了するものである。



神埼中央公園体育館外観



神埼中央公園体育館平面図



神埼中央公園体育館雨漏れ

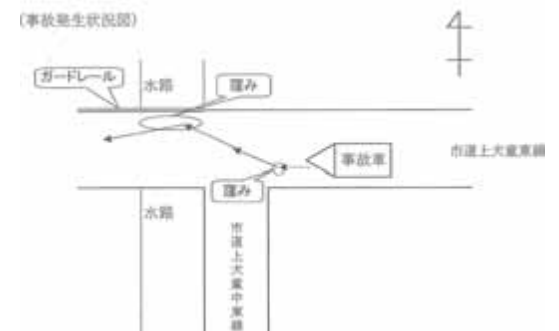
一般会計補正第 3 号

# 市道事故損害賠償金 予算額 26 万 9 千円

〔提案理由〕

平成 25 年 2 月 9 日、千代田町境原地内の市道上犬童東線において発生した物損事故について示談交渉の結果、和解が成立したので損害賠償金を支払うものである。

平成 25 年 2 月 9 日（土）午前 6 時 30 分頃、市道上犬童東線（宇部コンクリート工業南付近）を東から西へ走行中、左右の窪みに落ち込み、前輪とフロントフェンダーが接触し、左右フロントフェンダーを破損した。



総務企画部関係

# コミュニティ助成事業

予算額 490万円

**〔提案理由〕**

コミュニティ助成事業は、(一財)自治総合センターが宝くじの社会貢献広報事業として、集会施設やコミュニティ活動備品の整備、安全な地域づくりと共生のまちづくり、及び地域文化への支援等に対して助成を行い、地域コミュニティ活動の充実・強化を図ることにより、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上に寄与することを目的とするものである。

- ①尾崎西分(神埼町) 2,400,000円(総事業費2,453,600円) 伝統芸能「太神楽」の衣裳・楽器等整備
- ②猪面(神埼町) 2,500,000円(総事業2,862,352円) 屋外放送施設整備



太神楽

**主な質問**

- Q** 平成26年度の申請についての地区への説明は、既にされているのか。

**A** 7月定例区長会議において、募集をしたいと考えている。地区からの応募締切を8月30日とし、9月から10月に審査、11月に県に提出する予定である。
- Q** 神崎市が申請した事業の中でどういうものが多いのか。今回申請したものは、何回目の申請か。

**A** 尾崎西分、猪面は3回目の申請である。合併後の採択状況で説明すると、平成24年度は、1丁目の公民館、三谷地区の屋外放送設備、平成23年度は、姉地区の遊具、フェンス、小淵地区の神輿・半纏、犬の目地区の防災関連、平成22年度は、屋外放送設備が3件、防災設備が1件、平成21年度は屋外放送が2件、視聴覚機器が1件、防災機器材が1件、平成20年度は、屋外放送施設が2件、遊具が1件、防災機器材が1件と申請があっている。屋外放送施設、遊具が多い状況である。屋外放送施設の採択件数は合併後15件あっている。防災行政無線で対応しにくい所や集落内に放送設備が1つもない所は、今後も要望が上がってくるのではないかと思う。
- Q** 自主防災に取り組まれたところがあつたと思うが、どのような事業内容になっているのか。

**A** 防災資機材については、自主防災組織を設立されていることが採択の要件である。この組織率は年々高まっている。内容はヘルメット、ライフジャケット、担架、リヤカー、ツルハシ、発電機を含めて、もしもの時に対応できるものです。他には、常備するものとして、消火栓のホース、格納庫も採択の要件となっている。



# 風しん予防接種費用助成事業

予算額 866 万 8 千円

**〔提案理由〕**

佐賀県が平成 25 年度から 28 年度の 4 ケ年間「妊娠安心風しん予防接種事業費補助事業（案）」に取り組むことに伴い、神崎市在住の、妊娠を予定又は希望する人や妊婦の同居者の風しん予防接種を促進することで、妊婦の風しん感染リスクを下げ、先天性風しん症候群の発生を予防し、安心して妊娠や出産できるようにする。

（対象者）これまで風しんにかかったことがない方、風しん単独ワクチン又はMR（麻しん風しん混合）ワクチンの予防接種を受けたことがない方、又は接種の有無が不明な方で次に示す方

- ①妊娠を予定又は希望する女性（将来に備えて接種を希望する女性を含む）
- ②妊婦の同居者（夫等）

（対象者数）

年齢区分	人数	未接種率	妊娠希望率	人数
19～23歳女性	859	10%	100%	86
24～34歳女性	1983	50%	100%	992
35～39歳女性	1031	30%	100%	309
40～49歳女性	1923	30%	20%	115

計 1502 …①

	年間出生数	未接種率	年数	人数
妊婦の同居者（夫等）	290	50%	3.5	508 …②

①+②= 2010 人

対象者数 2010 人×0.7（接種率）= 1407 人

※対象者数は、県の割り出し根拠を参照

**主な質問**

Q

風しん感染は、家族以外で 50%と報道されていた。この事業説明の中でも、妊娠を予定または希望する人や妊婦の同居者の風しん予防接種を促進とあるが、それ以外、勤務先などでの感染も考えられる。それについては、どのような啓発を考えられているのか。

A

男性が抗体を持っていないことが多い状況で、一般の方も自主的に予防接種いただくよう周知していきたいと思う。

Q

風しん予防接種費用助成事業について、対象となる方が妊娠を予定または希望する女性、妊婦の同居者とあるが、妊娠されている方はどうなるのか。

A

妊娠の可能性がある方及び妊娠されてからの予防接種は出来ない。妊娠していない時期に受けることが基本になる。

Q

妊婦がこの予防接種した場合、どのような副作用があるか。それから、妊娠の後期は誰が見ても分かるが、妊娠の初期はどういうことで確認されているのか。

A

妊婦が予防接種を受けたときの副反応について、その報告はあっていないので、問題ないという見解だが、出来るだけリスクを回避するため、接種不適格者であることに変わりはない。妊娠の確認については、病院からの妊娠届書を市に提出されることで、妊婦と確認する。また、このとき母子手帳の交付と妊婦健診票をお渡しするが、この健診票で健診を受けると風しんの抗体の有無が分かる。



**産業建設部関係**

## 農地・水保全管理支払交付金事業

予算額 46万7千円

**〔提案理由〕**

混住化の進展や高齢化等の進行に伴う集落機能の低下により、農地・農業用施設等の適切な保全管理が困難となってきたおり、個々の農家では対応困難な保全管理については、地域共同の取組みを進めていく必要がある。

このため、共同活動を通じ農地・農業用水などの資源や農村環境の良好な保全と質的向上のための活動、及び農地周りの水路、農道等の施設の長寿命化のための活動を支援することにより、農業の多面的機能の持続的発揮を図るとともに、農業経営の安定化に資する。



農地・水保全管理事業の状況（姉川上分）

**主な質問**

**Q**

事業に各地区から申請があった段階で、対象農地の審査はどのようにされているのか。以前は、農振除外地は補助金返還になると言われていた。

**A**

対象地域は、農振農用地が対象である。農振除外地は補助金の対象にはなっていない。

**教育委員会関係**

## 英語によるコミュニケーション能力等を強化する事業

予算額 20万1千円

**〔提案理由〕**

グローバルな人材の育成に資するため、新学習指導要領〔外国語〕の着実な実施を促進するとともに、英語の使用機会の大幅な拡充や英語学習に対するモチベーションの一層の向上を図り、英語によるコミュニケーション能力等を育成することを目的とする。



英語授業の風景（神埼中）

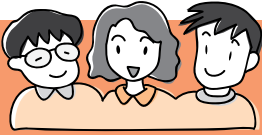
**主な質問**

**Q**

神埼中学校に決まったのは、どういう理由か。

**A**

市内の小中学校は、色々な研究指定校ということで、事業を実施されている。特に千代田中学校は「新・魅力ある学校づくり事業」をされていて、各学校取り組みをされているが、神埼中学校は事業に取り組みられていなかったため、今回お願いした。



## 賛否があった議案を紹介します。

### 《議案第36号》

### 神崎市長等の給与の特例に関する条例の制定について

**Q** これまでに、期限つきで公務員の給与が引き下げられた事例は何回ぐらいあるのか。

**A** 合併前においては幾度かあった。職員に関しましては、合併後は今回、初めてではないかと思っている。また、特別職については合併後、3年間だったと思うが、5%程度の削減をした。

**Q** 国家公務員のラスパイレス指数との比較で、それぞれの市町は引き下げることになっているが、そのラスパイレス指数というのはどういう内容なのか。

**A** ラスパイレス指数は、国家公務員の給与を100とした場合というような表現になっている。実際、国家公務員においては、10級で運用されているものと思っている。本市においては7級制である。ラスパイレス指数は、お互いの給与を比較して、それでもってどちらが高いかという判定をするもので、市においては1級から7級までの職員で、税務職員など一部を除き、入ったばかりの職員から定年を迎える全職員が対象となるのに対し、国家公務員においては、1級から10級までのうち、本省の課長級までを対象としており、学歴別、経験年数別に比較するものであると認識している。

**賛否一覧表** ※議案について、賛成・反対の双方があった場合のみ表示しています。

議案番号	議決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
		片江護	木原憲治	古川裕紀	宮地明	箕原忍	中野均	實松博記	野口英樹	野副芳昭	白石昌利	原口ひさよ	田原和幸	内村夏生	山田一明	廣瀧恒明	山口義文	松本軍二	永沼彰	古賀安行	内田良治	福田清道	佐藤知美	宮島清	原信義
議案第36号	可決(多数)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×

### 反対討論 (福田清道議員)

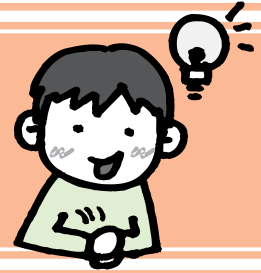
これは、地方公務員給与の削減である。国は地方財政の根幹をなす地方交付税から給与相当分を削減すると、7.8%の削減を押しつけた。地方交付税は、地方固有の財源であり、地方自治の本旨にのっとり、国が責任を持って確保すべきものである。地方公務員の給与は、自治体が自主的に条例で決定するものである。

今、給与は過去10年を見ても、地方公務員の場合は約60万円以上の平均給与が削減されている。特に子育て世代の中堅の公務員の人たちは、生活の厳しさ、子供の学校での学費などで大変厳しい生活を余儀なくされている。そういう中で、地方公務員の持つ、地方における経済面でも大きな貢献をしている。地方公務員の給与が削減されると、地方経済の消費も減退して、地方の商店、あるいは商工業、物も売れなくなる。経済にとっては非常にマイナスになるという結果を引き起こす。

しかも、地方自治を推進するといっておきながら、このような国の強権的なやり方、削減しない場合は地方交付税を減らすという、まさしく封建時代、江戸幕府の地方諸藩をいじめる、そういうやり方にも匹敵するような今回の地方公務員の給与引き下げについては、絶対に許すわけにはいかないと思う。よって、この条例案について反対する。

議案第39号

# これが聞きたい!



## 主な質疑・答弁

### 平成25年度神崎市の一般会計補正予算（第1号）

#### 神崎中央公園体育館屋根雨漏り対策修繕工事 850万8千円について

Q

業者の保証責任について、10年で雨漏りが予想されるパネルシーリング材を使う建築設計を許可したのか。業者の保証はないのか。

A

今回の雨漏りは、2段屋根で、特殊形になっている。シーリング材の修理をするが、これは支援機構に聞いても特殊なものではなく、一般的なもので、法律的な考え方からも10年が目安になっている。建物も10年を経過しているので、維持管理の中で改修していくことになる。

Q

2年前にも確認されていたので、その時に調査しておけば、企業の保証も出来たのではないか。社会体育館が12～3年で雨漏りすることが信じられない。

A

中央公園体育館は、外から離れてみると、吉野ヶ里の出土した建物を想像する建物であり、屋根を美しく見せようとしている。しかし、10年置きに、美観的なものを残し修理していくか、経費が入らないようにするか、意見を聞きながら考えていく。

Q

雨量と風向きに疑問を感じるが、施工図面を見て、原因と防止対策を進めていただきたい。

A

施工図面で確認し、防水業者と施工業者の意見を聞いて対応していく。



平成25年度全国高等学校総合体育大会

2013 未来をつなぐ 北部九州総体

開催期間 7月28日(日)～8月20日(火)

平成25年度全国高等学校総合体育大会(インターハイ)は、佐賀県、福岡県、長崎県、大分県の北部九州4県を会場として、29競技(33種目)で熱戦が繰り広げられます。





## 平成25年度神崎市一般会計補正予算（第2号）

### 企画費、コミュニティ助成事業 490万円について

Q

今回コミュニティ助成事業2件ですが、地区から何ヶ所申請があって、どれ位県へ上がっているのか。

6地区の申請があり、神崎市の割り当てが5件となっており審査を行い5地区の申請を県に上げた。

A

※申請地区と内容は、神納地区の遊具施設整備・永歌地区の掲示板設置・尾崎西分の太神楽整備・山田地区の屋外放送設備施設・猪面地区の屋外放送設備施設・大野地区の公園整備の申請があった。

### 予防費、風しん予防接種費用助成事業 866万8千円について

Q

風しん発症が1万人を超えている状況で、ワクチンが不足している。ワクチンの保有は保証されている状況なのか。

A

夏頃に不足が生じる恐れがあるという連絡を受けている。医療機関と協議して、妊娠を予定または、希望されている方々から優先的に接種していくというような対策が必要になると思う。

Q

この事業は、県の「妊娠安心風しん予防接種事業費補助事業」の取組みに伴って行う事業だが、男性が接種する時は全額自己負担で接種するのか。

A

妊婦と同居されている方は、男女関係なく対象としている。

### 子ども・子育て支援事業計画策定のための委員報酬の経費

Q

子ども・子育て支援事業で委員報酬が計上されていますが、事業策定には学識経験者を入れて検討することを要望する。

A

社会全体で子育てするわけなので、条例などの決め方にもよるが、検討していきたい。

## 平成25年7月 臨時会

### 〔議案第 43 号〕 「神崎市憩の家改築工事請負契約の締結について」

本事業については条件付一般競争入札により去る6月28日入札を行い、松尾・弟子丸建設共同企業体が落札した。

入札結果を受けて神崎市財務規則第109条第1項の規定に基づき、7月4日に松尾・弟子丸建設共同体との仮契約を締結をしており、地方自治法及び神崎市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例の規定により議会の議決を求めるものである。委員会附託を省略し7月5日の臨時議会で議決された。

- |                   |                              |
|-------------------|------------------------------|
| 1. 契約の目的          | 4. 契約の相手方                    |
| 神崎市憩の家改築工事        | 松尾・弟子丸建設共同企業体                |
| 2. 契約の方法          | (代表者) 佐賀県佐賀市八幡小路1番10号        |
| 条件付一般競争入札         | 松尾建設 株式会社                    |
| 3. 契約の金額          | 支店長 村岡祐吉                     |
| 444,150,000 円     | (構成員) 佐賀県神崎市千代田町下西 658 番地の 6 |
| (うち消費税及び地方消費税     | 株式会社 弟子丸建設                   |
| 相当額 21,150,000 円) | 代表取締役 弟子丸靖宏                  |



憩の家「完成イメージ図」

## 議会広報編集特別委員会の取り組みについて

神崎市議会において、平成 22 年度、平成 23 年度の決算は既に認定をしましたが、その中の主要施策事業において、その後、市民の皆さんへどのような成果がもたらされているのかを検証すべきではないかと、議会広報編集特別委員会で意見がでました。「まちづくり」や「暮らしの安心安全」をテーマとして当委員会で選んだ下記事業について、議会閉会後の委員会活動として、市民や執行部の意見等を聴きながらその事業の今を皆様に広報していくことになりました。



### 議会だより29号(8月定例会)掲載予定

#### 平成 22 年度決算認定事業 神崎市ケーブルテレビ整備支援事業

決算額 12 億 7,644 万 3 千円

#### 事業の目的

平成 21 年度国の第 2 次補正予算において、「ICT ふるさと元気事業」が創設された。地域の公共的サービスの新たな担い手としてケーブルテレビ事業者等が事業主体となって、ICT を利活用した取り組みを促進（支援）することにより、地域公共サービスの維持・向上を図るとともに、地域雇用の創出を図るものである。

佐賀シティビジョン(株) (ぶんぶんテレビ) が行うケーブルテレビ整備事業に対し、「ICT ふるさと元気事業」を活用して取り組むことにより、市内インターネット等ブロードバンド格差及び地デジ受診格差の是正を図るとともに、地域チャンネル等を活用した行政情報伝達の充実を図るものである。



### 議会だより30号(12月定例会)掲載予定

#### 平成 23 年度決算認定事業 防災行政無線整備事業

決算額 2 億 3,864 万円

#### 事業の目的

防災・災害対策のために、住民への情報伝達方式を防災行政無線により、一般行政情報及び災害時の緊急情報等、住民に対する情報の伝達効果を向上させ、生活の安定並びに防災対策業務の強化、円滑化を図ることを目的とする。



## 総務常任委員会活動報告 平成25年5月24日(金)

①脊振共同塵芥処理組合広域クリンセンターは、脊振町鹿路にあり、ゴミ焼却処理施設として、平成6年から平成8年度の3ヶ年継続事業として、建設事業費総額62億8,490万5千円で建設されている。構成市町は、神崎市・吉野ヶ里町・佐賀市(旧三瀬村・諸富町)である。環境に配慮し、一般廃棄物を焼却溶解するだけでなく、燃焼ガスの処理まで考慮したシステムになっている。最終的には、溶

融スラグ化され、アスファルト道路や歩行用ブロック等に再利用されている。



②葬祭公園整備予定地では、現在、神崎市の小淵・志波屋・三



葬祭公園整備予定地

谷地区にまたがる土取場跡地28ヘクタールのうち、約10ヘクタールが有力候補地である。平成24年8月に「神崎市・吉野ヶ里葬祭公園促進協議会」が両市町から執行部2名、議会代表4名の12名で構成されている。現在、みやき町の「しらさぎ苑」や佐賀市の「つくし斎場」などにお世話になっており、早急に建設に取り組んで行く方向である。

③三神地区環境事務組合汚泥再生処理センターは、神崎市千代田

町柳島にあり、構成市町は、神崎市・吉野ヶ里町・佐賀市・基山町・みやき町・上峰町の6市町である。総事業費56億5,117万6千円で、平成14年4月に稼働開始している。施設の処理状況は、平成24年度の1日当たり169kl(し尿64kl(38%)・浄化槽汚泥105kl(62%)であった。施設の特色は、水処理汚泥を廃棄せず再生処理(堆肥・ブロック)している。又、自然環境への配慮として、周辺の景観や臭気

に気を配り、きめ細かい運転を行なっている。



視察した二事業所では、環境に配慮した処理により、資源の再生を図り、無駄なく社会還元が図られていた。また、葬祭公園予定地を視察し、一日でも早い建設を思い研修を終えた。

- |    |    |    |    |    |    |    |
|----|----|----|----|----|----|----|
| 委員 | 長  | 原  | 信義 | 委員 | 野副 | 芳昭 |
| 委員 | 片江 | 古賀 | 安行 | 委員 | 白石 | 昌利 |
| 委員 | 木原 | 憲治 | 護  | 委員 | 山田 | 一明 |
| 委員 |    |    |    | 委員 | 松本 | 軍二 |

## 文教厚生常任委員会活動報告

委員会は、5月31日に市内小中学校の施設整備状況を把握する為、各学校事務官との意見交換会を行いました。

はじめに、各学校事務官より施設整備要望書についての説明がありました。その後、各議員より施設整備要望書に対しての質問や意見の確認をしました。

①プールの施設整備については、プール周りの床面の安全性・プール周りのフェンスの老朽化・プールのフィルター等の詰まり等の意見がありました。

②学校給食の搬入時については、補助板を置いたり、鉄板を使用したりして給食運搬車との高さの調整をされたり、配膳室のドアの幅が狭いのではとの指摘もありました。

③修繕費については、各学校かなり苦労されており、古い学校ほど

トレイの鍵の調整・各教室の鍵の老朽化・ドアの調整など毎年修繕費は赤字と言う学校もありました。

施設整備要望書以外の事務の中で、学校給食費の滞納状況について確認し、数校において滞納がある現状でした。

今後の活動として、各学校の施設整備要望書に基づき、写真や説明で分かりにくい所があり、早急に修理する必要があるのか、各学校を訪問して確認していきます。



委員会の様子

委員長	宮島	清	委員	箕原	忍
副委員長	佐藤	知美	委員	實松	博記
委員	古川	裕紀	委員	野口	英樹
委員	宮地	明	委員	廣瀧	恒明

## 議会改革検討特別委員会の経過報告

議会改革検討特別委員会では、「議会報告会」「議員の各種審議会・委員会等の関わりについて」を議題として、5月24日及び6月21日に委員会を開催しました。議会報告会については、議会報告会の開催を決定しましたので、実施にあたっての実施要綱を策定するため、さっそく要綱策定委員を選任し、閉会中に素案を特別委員会に上程することになりました。

また、議員各種審議会・委員会等の関わりについて、具体的な審議を行いました。現在、神崎市の付属機関等の委員に、議員が就任しているものがありますが、委員就任のあり方について、現在、見直しを行っています。法令に基づく委員以外の市の各種審議会・委員会等には多くの市民の方々に参加していただくため、議会の監視機能を十分に

發揮するため慎重に、各常任委員会で審議をした後、特別委員会でも、次回結論を出したいと思えます。

以上のように議会改革検討特別委員会では、議会報告会や議員の各種審議会・委員会等の役割りについて、引き続き閉会中の継続調査を行なつてまいります。



委員会の様子

委員長	永沼	彰
副委員長	原	信義
委員	全	議員

## 市民の願い国政に届ける（意見書）

6月定例会で以下の意見書が可決されました。

この意見書は、内閣総理大臣・衆議院議長・参議院議長・総務大臣・財務大臣・文部科学大臣に提出しています。

### 35人以下学級の完全実現、義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書

35人以下学級について、昨年義務標準法が改正され小学校1学年の基礎定数化がはかられたものの、今年度小学校2学年については加配措置に留まっています。

日本は、OECD諸国に比べて、1学級あたりの児童生徒数や教員1人あたりの児童生徒数が多くなっている。一人ひとりの子どもに丁寧な対応を行うためには、1クラスの学級規模を引き下げる必要がある。文部科学省が実施した「今後の学級編成及び教職員定数に関する国民の意見募集」では、約6割が「小中高校の望ましい学級規模」として、26人～30人を挙げている。新しい学習指導要領が本格的に始まり、授業時数や指導内容が増加している。また、暴力行為や不登校・いじめ等、生徒指導面の課題が深刻化し、障害のある児童生徒や、日本語指導など特別な支援を必要とする子どもが顕著に増えている。このような中で、地方が独自に実施する少人数学級は高く評価されている。

子どもたちが全国どこに住んでいても、機会均等に一定水準の教育を受けられることが憲法上の要請である。しかし、三位一体改革により、義務教育費国庫負担制度の国負担割合は2分の1から3分の1に引き下げられ、自治体財政を圧迫している。

将来を担い、社会の基盤づくりにつながる子どもたちへの教育は極めて重要である。こうした観点から、平成26年度政府の予算編成において下記の事項が実現するよう、強く要望する。

#### 記

1. 少人数学級を推進すること。具体的学級規模は、ゆたかな教育環境を整備するため、35人以下学級の完全実現。
2. 教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、義務教育費国庫負担制度の堅持とともに国庫負担割合を2分の1に復元すること。



児童数の少ない学級



児童数の多い学級

## 《議会の動き》

- 4月17日 議会改革検討特別委員会 第2分科会
- 4月24日 議会運営委員会  
平成25年第2回 神崎市議会臨時議会  
議会全員協議会  
議会改革検討特別委員会 第1分科会
- 4月25日 九州市議会議長会定期総会
- 5月20日 産業建設常任委員会
- 5月21日 九州市議会議長会理事会
- 5月22日 全国市議会議長会定期総会
- 5月24日 議会改革検討特別委員会 小委員会  
議会改革検討特別委員会  
議会運営委員会  
総務常任委員会 市内視察
- 5月31日 文教厚生常任委員会



6月17日 議会運営協議会



6月21日 議会改革検討特別委員会

- 6月20日 文教厚生常任委員会  
総務常任委員会
- 6月21日 議会改革検討特別委員会
- 6月24日 総務常任委員会
- 6月25日 議会運営委員会  
議会全員協議会
- 7月5日 平成25年7月第4回 神崎市議会臨時会  
議会運営委員会  
議会全員協議会

- 6月4日 議会運営委員会
- 6月7日～6月25日  
平成25年6月第3回 神崎市議会定例会
- 6月7日 議会運営委員会
- 6月17日 議会運営委員会  
議会広報編集特別委員会
- 6月18日 議会全員協議会  
議会改革検討特別委員会 小委員会  
議会運営委員会
- 6月19日 平成25年度予算特別委員会



7月5日 議会全員協議会

# 市政を問う! 《市民の声を》



## 一般質問



原口ひさよ

学校の今後の  
施設整備計画は

教育施設の安全対策について

**Q 質問** 千代田中学校の体育館での式典の折、大勢の人が一同に起立や着席の動作をしたときに体育館の揺れを感じた。耐震診断や耐震化工事を進められてきた中で、千代田中学校体育館の現在の状況はどうか。構造的に問題ないのか尋ねる。

**A 教育部長** 千代田中学校体育館は平成3年5月に竣工している。昭和56年に建築基準法が改正された新しい耐震構造の建物となっており、国の基準の震度5の地震に耐え得る構造となっている。

**Q 質問** 市内の小・中学校の施設について、随時改修が必要になったり、環境の整備にも配慮していく必要があると思われるが、今後の施設整備計画をどのように考えておられるのか尋ねる。

**A 教育部長** 施設整備計画については、各学校と教育委員会の合同で全校の施設を点検し、小中学校施設整備計画を策定。緊急性や必要性など優先順位を決め整備を進めていく。

定住対策について

**Q 質問** 全国的に人口減少が進む中で、神崎市においても雇用失われている。そこで、定住対策として立ち上げられた、市の定住促進対策検討会議の進捗状況について尋ねる。

**A 企画総務部長** 定住促進対策検討会議は、特に脊振、千代田東部地区の人口が減少し過疎化が進んでいるという認識のもと、定住促進をテーマとして設置した。検討会議は若手職員を対象に公募し、16名の職員で構成。

人口減少地域の調査、分析、対策の検討及び対策案の作成を行い中間報告会を開催した。

**Q 質問** 定住対策に取り組む自治体が増えてきている。危機感を持って早急に対応していく必要があると思うが。

**A 企画総務部長** スケジュール感、スピード感を持って作業している。理解いただきたいと思う。

## 一般質問



古川 裕紀

子宮頸がん  
ワクチンの効用と、  
そのリスクについて

**Q 質問** 子宮頸がんワクチンの接種状況は。

**A 福祉市民部長** 希望する中学1年生から高校1年生までの女子を対象に無料接種を行っている。神崎市の接種率は80%程度。6月14日に積極的勧奨の一時中止が厚生労働省により決定され神崎市にも通達が出されたと思うがどういった内容だったのか。

**A 福祉市民部長** 子宮頸がんワクチン接種後に激しい痛みが起きる可能性があり、副反応の発生頻度等について国民に適切な情報提供が出来るようになるまで勧奨すべきでないと言われた。神崎市では当面は接種勧奨を行わない。

**Q 質問** 副反応による被害が国内にて2000件も報告され、中には1年以上通学できない例もある上に、そもそも予防効果を疑問視する声も多くあるようだが、神崎市の認識は。

**A 福祉市民部長** 子宮頸がんは、がんの中でもワクチン接種による1次予防が十分可能ながんである。しかし、ワクチン接種においては副反応が危惧される点であり、情報提供しながら予防接種に取り組んでいきたい。

**Q 質問** 今回の副反応の問題を受け、文部科学省も子宮頸がんワクチンの接種に関連した欠席等の状況調査をされるようだが。

**A 教育部長** 県の教育委員会から6月12日付で文書が来ている。市内の各学校から7月10日までに状況について回答を求めるといふことで今調査している。

**Q 質問** 今回、勧奨中止という国からの通達が出たが、もし独自に調査した結果、リスクが大き過ぎると判断した場合には、市長には国の指示よりも市民を守ることを優先する判断を下して頂けるのか。

**A 市長** 非常に難しい話。因果関係が明確になれば中止することになるかと思う。今は明確な話がないから、対象者本人の希望に委ねたいと思う。しかし危険性はPRしたいと思う。

## その他の質問

・公共施設における日常の国旗・市旗の掲揚について



# 市政を問う! 《市民の声を》



## 一般質問



宮島 清

### 市民活動応援制度の創設を

#### Q 質問

補助金の交付実態や基準はどうか、また、補助団体の数や補助額はどれ程度で事業や活動のチエックは公平にされているか。

#### A 企画総務部

補助金につきましては団体等の活動において公益上の必要がある場合に交付してあります。又、内容が目的を達成する為に必要かを審査し適当と認められた場合に交付している。現在の交付団体は延べ三百十三団体で、補助金の総額は五億七千二百万円、事業報告書や収支決算書の提出を義務付けています。

#### Q 質問

現在の補助制度は、もう一方も補助する方も当然といった感じで恒常的で見直すべきだ。提案だが市民活動を公募で選り外部の審査によつてその活動団体に市民税の1%を財源に支援をする制度だが、現在の補助金制度を再考し、神崎市の市民活動がもっと活発になる制度を今後は取り入れていくべきだ。

#### A 副市長

効率性を考え補助金の制度設計を勉強して行きたいと思えます。

### 地域イベントにもっとと行政のかかわりを

#### Q 質問

現在、わんぱく祭り、宿場祭り、ハンギー祭り、市民交流祭が開催されているが検証はしているのか。又、祭りにおけるボランティアの募集やPRはどのようになっているか。

#### A 建設部 産業理事

祭りは実行委員会が結成され主体となり開催され、行政としては会計、機関調整、許可申請等の業務を行なっています。又、ボランティア募集は行なっておりません。PR告知は市報、全戸配布チラシ、FM、ぶんぶんテレビ等で周知しています。

#### Q 質問

市民交流祭は合併を機に脊振・神崎・千代田の融和と親睦を目的に開催されているが、脊振、千代田の参加者が非常に少ない、他の市町では市外の誘客に力をいれたイベントが賑わっている。そろそろこの交流祭も内容を変え、大々的に行政あげてPR告知を市外にも発信して行くべきではないか。

#### A 市長

まちづくりをどうするか悩ましいところであり、今後「祭りづくり」も必要だと思えます。

## 一般質問



廣瀨 恒明

### リニアコライダーの誘致・脊振地域を国際研究都市に

#### Q 質問

リニア誘致が実現すれば、神崎市北部地域(脊振山地)の地位を高めると共に、産業・地域振興等多大なるメリットがある。国会議員連盟も発足したことだし、市長も動きやすくなったと思われるので、前向きなそして夢のある話しを伺いたい。

#### A 市長

まずは、政治的な動きについて報告しておきます。4月9日県市長会、5月16日九州市長会で脊振山地への誘致がされるよう国に対して「誘致推進」を求める決議をしている。これにより、県、更に九州市長会一体となつて強力に国に誘致を要請していくこととしている。議員も「夢とロマン」を語られたが、私も未知とされる「宇宙誕生の謎」を考えますとロマンを感じずにはいられません。これに加えて産業振興、雇用の創出、人材育成、地域振興に貢献してくれると思われる。国会議員、県、脊振山地にまたがる福岡県と一体と

### 高齢者の孤立化防止対策について

#### Q 質問

高齢者の孤立化防止対策及び孤独死の未然防止対策はどのようになっているか。

#### A 福祉所 事務長

平成25年3月末で神崎市全体の高齢化率は25・8%、510人です(脊振35%、神崎24・4%、千代田26・6%)と高齢化が進行している。このような現状の中、神崎市の高齢者孤立化防止対策として、デイサービス事業、安否確認の配食サービス、一人暮らしの人を対象に緊急通報システム等を整備し、一人暮らしの方々の突発事故防止又、老人クラブ友愛訪問、民生委員さんの訪問活動などにより一人暮らしの方々の相談相手としてもらっている。

### 人工林対策について

#### Q 質問

荒廃が進行している人工林(神崎町北部地区、脊振町)のようになっているか。

#### A 建設部 産業部長

本市においては、県の補助事業である林業再生事業や森林環境保全事業を活用し、本年度70haの利用間伐を実施し、10年で700ha実施する、豊かな森林再生を促し、森林の機能回復に努めていく。

# 市政を問う! 《市民の声を》



## 一般質問



内田 良治

高齢化と共に  
増え続ける空き家を  
市はどう  
対処するのか

### Q 質問

外壁がはがれ、今にも崩れ落ちそうな木造住宅、放火による火災も頻発、人々を不安に落し入れている。空き家は個人の問題であるが大きな社会問題となっている。本市において空き家の現状と問題点は何なのか。

### A 企画 総務部

管理されている空き家が3棟あり、放置住宅については防災面を考えると所有者又は管理者に対し何らかの対策を講じる必要があると考える。

### Q 質問

先般NHKのクローズアップ現代という番組で、「今後さらに調査を行ないながら先進事例を含め研究していききたい。」

### A 企画 総務部

今後さらに調査を行ないながら先進事例を含め研究していききたい。

### Q 質問

通学道路や一般道路に直面した倒壊のおそれのある危険住宅が本市に存在するの。現在のところ、そういった危険住宅はないと聞いている。

### A 企画 総務部

私の集落にも住宅空き家が約10戸存在する。周囲の方々は解体を御願いされるのが多い。そこで問題になるのが相続の問題、解体後の維持管理の問題、一番多いのは解体費用だと思う。防災の面で近隣に迷惑をかけるので市も解体費用の一部助成は検討してほしい。

### Q 質問

神崎市にとって、こういったものがふさわしいか、整合性のとれるようにしっかりと検討したい。

### A 企画 総務部

空き家対策の阻害要因は解体しない方が得をする固定資産税の制度と間く、どうなっているのか。

### Q 質問

税の軽減は200平米までは1/6となり、200平米を超えると1/3となる。

### A 企画 総務部

正に空き家のままが得をし、増える要因がここにある。今後改正すべき税法上の盲点だ。市も空き家を少しでも減らす方策は優良中古住宅の斡旋も今後対処すべきと思うが。

### Q 質問

そういったことも他市の事例を参考に検討していきたい。

### A 企画 総務部

そういったことも他市の事例を参考に検討していきたい。

## 一般質問



佐藤 知美

子ども・子育て  
支援について

### Q 質問

子育て支援については、次世代育成支援事業で推進されていますが、新たな子育て支援として平成二十七年に関連法が施行される予定ですが、その目的は。

### A 事務 福祉所

目的は幼保連携型認定子ども園の改善、移行の推進、次に待機児童対策、三番目に小規模な保育の活用、最後に地域における親子が交流する場、一時預かりの支援となっている。法整備の目的として子育て力の回復に資するとなっているが、今後どのような支援策が考えられるか。

### Q 質問

近年の核家族化、地域、近隣のつながりの希薄化などの状況が踏まえ、同じ悩みを持つ保護者同士が交流する場、子育ての相談など現在の支援センターの充実、地域支援拠点の整備を行う。

### A 事務 福祉所

近年の核家族化、地域、近隣のつながりの希薄化などの状況が踏まえ、同じ悩みを持つ保護者同士が交流する場、子育ての相談など現在の支援センターの充実、地域支援拠点の整備を行う。

### Q 質問

子育て関連三法案との係わりで保育園、幼稚園は今後どのような役割を果たすのか。

### A 事務 福祉所

今後、幼稚園を幼保連携型認定子ども園に移行させ、未満児も一体的に預かれるように法整備がなされている。保育園についても質の高い幼児教育を求める事になる。

### Q 質問

今回の新たな子ども支援策を推進するにあたり、市内の全ての子供の状況を掴む必要があると思うが、市内で保育園も幼稚園も行っていない児童の数はどうなっているか。

### A 事務 福祉所

四月時点でゼロ歳児から五歳までが千七百七十七名に達するが、五百十人程度が保育園も幼稚園も行っていない。園に通っている児童は、日々状況はわかるが、園に通っていない児童が祖父や他の家族と一緒に生活する問題は無いが、それ以外は生活実態に不安が残る。

### Q 質問

園に通っていない児童の生活実態の把握については、母子推進委員会とか民生委員さんの協力を得ながら努力する。

### A 事務 福祉所

園に通っていない児童の生活実態の把握については、母子推進委員会とか民生委員さんの協力を得ながら努力する。



## 市政を問う! 《市民の声を》



内部障がい者の  
社会的認知の向上  
ハート・プラスマーク

**Q 質問**  
内部障がい者の共通の悩みとして、外見からは障害があることが分かってもらえない「見えない障害」という悩みがあるようだ。その為、外見から認識できないことから周囲の理解が得られにくく、社会生活の中で嫌な思いをすることがあると聞く。今後内部障がい者は増加傾向にあり、暮らしの中で内部障がい者を支える為、理解と支援の必要性があることから、市の取り組みと考えを伺う。



### 一般質問

白石 昌利

内部障がい者を  
支える為、  
理解と支援が  
必要不可欠

**Q 質問**  
内部障がい者の社会的認知の向上に向け「ハート・プラスマーク」や「譲り合い感謝マーク」等や、理解促進リーフレットの作成・配布を取り組む予算化を是非認めて頂きたい。

**A 市長**  
内部障がいを持った方々が必要であり、周知の啓発は責務と思う。リーフレットの配布や口頭での広報、又は学校教育の中での指導等取り組みには色々あるが、当然やらなければ成らないと認識するので考慮・検討しながら進めたい。



### A 事務 福祉所 長

内部障がい者の支援に欠かさない医療費の助成や補装用具等に対し、公費負担の経済的支援を行っている。内部障がい者がより快適に社会生活を送るには、周囲の理解が必要なことから社会的認知の向上に向け、普及と促進に努めたいと考えている。

**Q 質問**  
毎雨、雨による被害が発生しているが、被害状況と避難者の数はどうなっているか。

**A 企画  
総務部 長**  
床下浸水は、平成22年は3世帯、平成24年は4世帯。農地冠水は、平成22年は430ヘクタール、平成24年は546ヘクタール。農業用施設災害は、平成22年は266カ所、平成24年は7カ所。公共土木災害は、平成22年は26カ所、平成24年は1カ所。林道災害は、平成22年は33カ所、平

**Q 質問**  
神崎市は周囲を河川で囲まれている。東日本大震災による被害を教訓に、神崎市地域防災計画があるが、市民の方の中には、身の安全は、自ら守る意識を持つておられる。神崎市内に避難場所は何か所あるか。

**A 企画  
総務部 長**  
脊振・神崎・千代田で26カ所ある。



### 一般質問

野副 芳昭

神崎市内に  
標高(海拔)の  
掲示と看板の  
設置を

**その他の質問**  
「神崎市内の小中学校での不登校」  
実態と対処、今後の対応は

**A 市長**  
避難所の妥当性を含めながら、設けていきたい。

**Q 質問**  
市民の安心と安全のために、ぜひ標高(海拔)の設置をすべきである。

**Q 質問**  
神崎市内においても想定外の災害を考慮しておく必要がある。その為にも市内の地系を把握しておくことが重要である。市内の標高(海拔)はどうなっているか。

**A 企画  
総務部 長**  
千代田中学校3・2m。千代田中部小3・6m。千代田支所・次郎体育館・文化会館・保健センター3・9m。千代田西部小4・3m、清明高校4・5m。千代田東部小4・8m。神崎小5・3m。神崎保健センター6・5m。本庁6・6m。神崎中学校・中央公園体育館・中央公民館7・5m。日の隈寮8・4m。仁比山小12・4mである。

**Q 質問**  
神崎市内においても想定外の災害を考慮しておく必要がある。その為にも市内の地系を把握しておくことが重要である。市内の標高(海拔)はどうなっているか。

成24年は1カ所。平成23年は、神崎町団地周辺で冠水があった。平成22年の避難者は269世帯の514人で、平成24年は17世帯の26人が自主避難している。

# 市政を問う！《市民の声を》



## 体育館の照度

学校名	照度 (夜間)
神埼小学校	337 ルクス
西郷小学校	355 ルクス
仁比山小学校	311 ルクス
東部小学校	218 ルクス
中部小学校	155 ルクス
西部小学校	122 ルクス
<b>維持照度 300 ルクス</b>	

**A 教育部長** 市内小学校の照度については、教育委員会で確認している。

**Q 質問** 千代田中部小学校体育館は、夜間は非常に暗いときいたので、私は照度計を借りて測定しました。その測定結果は中部小体育館115ルクス、西部小119ルクス、東部小約310ルクスで、神崎市内小学校の体育館の照度は、どのようになっているか。

## 一般質問



中野 均

学校環境衛生  
基準について

**Q 質問** 最低維持照度の300ルクスは確保していただきたい。今後、学校の整備計画についてどのような考えを持っているのか。

**A 教育部長** 施設整備計画については、予算の確保があるので、学校現場、教育委員会の中で十分検討させていただきたい。

## 内水面農地の 水害対策について

**Q 質問** 雨量や水位を測定するテレメータ等を設置して、より迅速に情報を把握し、効果的な排水樋門の操作をしたらどうか。また、内水面管理システム体制の構築を進めべきと思うが。

**A 建設部長** 内水面管理システムを代用する機能が、国営、県営の管理で同様なシステムが採用されており、

千代田幹線及び曾根・詫田幹線水路の各制水門の上下流に水位計が15ヶ所設置されている。水位情報や河川の状況についてはインターネットで把握が可能となっており、既存のシステムを利用して排水樋門の効果的な操作体制の構築に努めたい。

## その他の質問

・市営住宅の維持管理と駐車場の確保と対策について

## 一般質問



野口 英樹

さが桜マラソン  
について

**Q 質問** 市が負担した経費は。

**A 企画総務部長** 平成24年度から本年度予算まで合計で7,487千円を負担した。「大会運営に係る負担金5,000千円」「懸垂幕、横断幕、のぼり旗及び吹奏楽、太鼓演奏等の応援ユニフォーム作成費などの経費1,520千円」「ゼンざい、ひしぼろ、イチゴのお振舞に係る経費、地元や吹奏楽等の応援に係る報償費967千円」を支出した。

**Q 質問** 開催しての評価は。

**A 企画総務部長** フルマラソンへの競技参加者は、エントリーが8,670名、当日出走者数が7,487名で、出走率86.4%です。完走者数6,892名、完走率92.1%でした。出走者の出身別内訳は、全国47都道府県全てから参加いただき、最も多かったのは福岡県が2,789名、佐賀県内からの

参加者は2,257名で、九州・沖縄で88%を占めています。また東京より130名を含む関東地方から305名、大阪府など近畿地方から183名の参加を頂いている。今回、県内外から多くの方に参加して頂き、コース上の吉野ヶ里遺跡、麦畑などの田園風景や西郷地区をはじめ、沿線地区市民ボランティア、団体ボランティア等、市民の皆様や各方面、各関係機関の御協力、また、沿線にたくさんの方の市民の皆さんよりランナーに熱い声援を送って頂き、神崎市の魅力や良さを全国に向けて発信することができた大会だったと考えている。

**Q 質問** 開催しての改善点は。

**A 企画総務部長** インターネット上のサイト「ランネット」でのランナーの声として、フルマラソンと10キロメートルの同時スタートに関して改善を望む意見や仮設トイレ設置箇所や案内に関しても改善を望む意見を頂いている。また、JR佐賀駅とスタート、ゴール地点とのシャトルバスの運行要望もあっている。これらの意見・要望を踏まえ、次大会がよりよい大会になるよう関係団体と意見調整を行いたいと考えている。

## その他の質問

・農作業事故について

## 市政を問う! 《市民の声を》



いかなる方法で取り組みができるのか関係機関に働きかけをしている。気持ちは質問者と同じ認識を持っている。

**A 市長** この間の道路新設は、本市から1本しかなく、城原川ダム建設に絡み見え隠れするところではあるが、それはそれとしてバイパス等が必要である事は認識している。

脊振・神崎間のバイパス構想として、倉谷（脊振）～三谷（神崎）間の早急な整備についてどのように考えているか。

事業としては、インフラ整備である。県道21号線（神崎～脊振）間における道路拡幅及び防災事業は急を要するものである。

**Q 質問** これまで積極的に取組まれた神崎市の数々の事業については大変評価をしている。しかし、今求められる。どうか、今求められる事業として、インフラ整備である。県道21号線（神崎～脊振）間における道路拡幅及び防災事業は急を要するものである。



### 一般質問

實松 博記

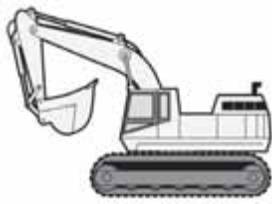
国の施策に対し  
神崎市の  
取り組みは

### 道路整備等の公共事業の 取り組みについて

**Q 質問** 工事の予算確保及びその執行状況については、全ての入札より生じる差金は不用品となる。その状況をどのように理解し、どのように処理されているか。現状として議会で予算が決定され、その後工事開始まで約1年間も取り組まれていない。市民にどのような説明をするのか。また、工期の設定もいい加減ではないのか。

**A 建設産業部** 工事箇所を設定しない予算を一定額確保し、緊急的な不測の事態に差金を充当している。

単に予算消化のための執行は行っていない。工期の表示については関係機関との協議に不測の日数を費やし、地元への経過説明をしていない事で、大変心配をかけてしまい、申し訳なく思っている。不適切な時期に不適切な看板を掲示した事で不信任を与えてしまったと思っている。



### 一般質問

原 信義

市内人口を増す  
対策として、  
市営住宅の建設を  
考えたら

**Q 質問** 専門家によると40年先、日本の人口は現在の1億2,700万人から8,700万人へ、4,000万人も減少すると推計されている。これは1年に100万人都市が一つずつなくなることを意味する。こうなると働ける人が激減し老人大国になり、10人で1人を支えている社会保障は3人で1人を支えることになる。人口増対策は重要な課題と思うが行政としてどんな対策をとっているか。

**A 企画総務部** 仕事と子育ての両立できる環境整備として、保育園、認定保育事業の拡充、施設整備を行っている。子育て世代の経済的負担軽減のため、本年度から医療費助成を中学生まで拡充。各種予防接種事業、不妊治療助成、就業・雇用の場の確保・創出のための企業誘致を促進している。また、インフラ整備の推進、地域公共交通の充実に努め、生活環境の利便性の向上を図っている。

仕事と子育ての両立できる環境整備として、保育園、認定保育事業の拡充、施設整備を行っている。子育て世代の経済的負担軽減のため、本年度から医療費助成を中学生まで拡充。各種予防接種事業、不妊治療助成、就業・雇用の場の確保・創出のための企業誘致を促進している。また、インフラ整備の推進、地域公共交通の充実に努め、生活環境の利便性の向上を図っている。

**Q 質問** それらの政策効果はあがっているのか。

**A 企画総務部** 平成17年から22年の間、本市の人口は636人、率で1.9%の減少となっているが、増減率の順位では県内10市では上位から6番目、県内20市町では上位から9番目で一定の効果は出ていると認識している。

**Q 質問** この人口減少の主な原因は何だと考えるか。

**A 企画総務部** 死亡者に対し出生数が少ない自然減少、転入転出による社会減少と思う。

**Q 質問** 神崎市は他市町に比べて市営住宅募集に対する応募者がきわめて高い。このことは、公営住宅の供給不足を示すものか。定住者増対策としてニーズに合った市営住宅の建設を提案したい。政府の調査では持ち家希望から借家希望へ流れは変っている。みやき町の『民活で町営住宅建設』は参考になる。

**A 建設産業部** 人口の減少をくいとめる対策としての住宅建設は、直接的であり、即効性があると思うが、市が行うことが適切かどうか、効果的であるか調査研究していく必要があると考えている。

# 市政を問う! 《市民の声を》



**Q 質問**  
子育ては家族や親の個人責任、自己責任だけにすることはなく、社会全体で子供を育んでいく必要があるのではないかと考える。

**A 教育部長**  
神崎市は子育て支援として、中学卒業までの医療費の無料化、放課後児童クラブの対象を6年生まで広げると、子育て支援においては、県内他自治体に遅れをとってはいないと思う。子育て支援については、どういふものが神崎市にふさわしいものなのか、給食費も含めて総合的に検討していく必要があるのではないかと考える。

**Q 質問**  
今、全国的に学校給食費の無償化、または主食費等への補助が少しずつ広がってきている。当市においても、子育て世代への支援策として、給食費、年1万円引下げを実現すべきである。これは単なる補助ではなく、日本の未来、神崎の未来を担う世代への投資である。

**一般質問**  
**福田 清道**  
学校給食費、生徒一人当たり、年1万円の引下げを

**その他の質問**  
・学校給食への地元産の農産物の利用について  
・平成28年以降の地方交付税減額について



給食風景

**A 市長**  
実施している他市町の給食費補助は、人口減対策の一助として取り組まれている。しかし、それだけで減少への歯止めとなり、増への転換になるのか疑問に思う。給食費の減額など、子育て支援については、市施策全体の中で検討していきたい。



中地江川

**Q 質問**  
中地江川、城原川の河川改修も進んでおります。城原川は河道を掘削している。他方、中地江川は河道を掘削せずに川幅を広げようとしている。中地江川は河川改修の基準が変わったから川幅を広げる方法をとったと理解していた。この新しい基準は城原川には適用されないだろうか。

**一般質問**  
**宮地 明**  
治水について

**その他の質問**  
・教育について  
・医療について

**A 建設部長**  
大規模な城原川とはは、重要度などを加味しまして、百五十年に一回の雨を想定して、28水規模相当を流せる河川の整備計画になっています。

**Q 質問**  
城原川の改修のときに適用される基準は、また別にあるわけですか。



城原川

**A 建設部長**  
検討されましたが、計画洪水流量を流すには余りにも川幅が広くなり経済面などで新基準の適用は適当ではないと判断されております。



## 市政を問う！《市民の声を》



**A**  
**市長**  
今日は学校教育、子育ての観点また国からの指導、誘導も有り教育施設を取り組んでいます。福祉センターも必要性があれば当然対応策を進めたいと思います。

**Q**  
**質問**  
45名程が利用されている福祉施設で大きな災害、事故等に対し耐震調査の必要性をお伺いします。

**A**  
**福祉事務**  
昭和47年に建設され41年が過ぎています。耐震測定は今後耐震測定の必要性を含めて検討していきたいと思ます。

**Q**  
**質問**  
千代田地区の福祉の拠点として多くの市民の皆様が親しまれている。今日高齢化は一層進む予測がされている。生涯学習、健康教室、趣味のサークル活動の推進を旨とする受け皿として、この施設の耐震調査、維持管理など検討の時期と思ます。市の考えを問う。



### 一般質問

永沼 彰

千代田町  
福祉センターの  
維持管理、  
老朽程度は

**A**  
**建設産業部**  
平成25年度行われている工事は本告牟田地区の区間で路肩補強が目的で今後の道路改良の計画はありませぬ。又城原川提体補強工事は着手されておられ引き続き新宿橋付近まで順次堤防工事が実施されます。

**Q**  
**質問**  
近年神崎橋より南へ工事がされているが今後どの計画はあるのかお伺いします。

### 県道外環状線の改良と城原川提体工事について



千代田町福祉センター

**Q**  
**質問**  
福祉施設として楽しく利用してもらうには、トイレ、スロープ、空調設備等の改修についてお伺いします。

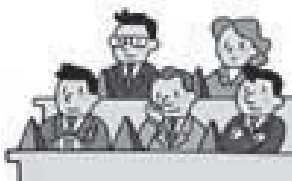
**A**  
**福祉事務**  
管理は社会福祉協議会に委託しているが、設置者は市です。社協と打合せて指摘されました点など、前向きに改修を行ってまいります。



脊振小6年生の議会傍聴の状況



議会運営委員会の状況



発見かんざき —北から南から—

# 脊振山の斜面に建つ ジャッピー機遭難の碑



ジャッピー機遭難 昭和11年11月19日、パリ～東京間100時間懸賞飛行中のフランスの飛行家アンドレ・ジャッピーは不安定な気象条件と濃霧に苦しみ、福岡着陸を目指したが悪天候のため、当時の脊振村久保山地区の山中に墜落。地元消防団と住民の素早い捜索と救出活動で一命を取り留めた。村内の診療所で手厚い看護を受けた後、翌年には村を挙げての全快を祝う会があった。墜落地(現脊振町)には石碑などがある。



ちなみに、神崎市脊振町広滝バス停そばにある『脊振ふれあい館』の歴史資料室では、ジャッピーさんの『シムーン』機の機体の一部が展示されています。



脊振ふれあい館

## 編集後記

今議会で、英語によるコミュニケーション能力等を強化する事業についての補正予算が認められた。個人差もあるが、英語圏の人はよく話すとのイメージがある。それに負けじと説明できる、しかも英語で、人を育てると言う事である。本市でも、農家が減少している。都会へ出て行く。就職するとき、英語での表現能力は大きく影響すると思われる。私も、英語は時間をかけた科目であった。大学入試のとき、英語で救われた。(記 宮地 明)

- 広報委員会
- |      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 白石 昌利 |
| 副委員長 | 野副 芳昭 |
| 委員   | 宮地 明  |
| 委員   | 野口 英樹 |
| 委員   | 原口ひさよ |
| 委員   | 内田 良治 |